

2024年12月25日

「ヤクルトサステナビリティキャンペーン」を実施

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、グループ全社統一キャンペーンである「ヤクルトサステナビリティキャンペーン」を、2024年9月にグループ全従事者を対象に実施しました。

今年度は、「人と地球のために、今行動しよう！」をキャンペーンタイトルとして、気候変動問題をテーマに実施しました。

ヤクルトグループ内の各拠点単位で、国連が啓発する10の気候変動対策活動“Act Now”から具体的な取り組み目標として“Our Act Now”宣言^{※1}を募集しました。本キャンペーンには合計167拠点が参加し、達成者^{※2}の合計は37,543名でした。達成者1名につき100円として金額換算し、公益財団法人国際緑化推進センター（JIFPRO）に3,754,300円を寄付しました。この寄付金は、植林などの森の造成に活用されます。

また、本キャンペーンの一環として、公益財団法人オイスカ「子供の森」計画に10万円を寄付しました。この寄付金は、インドネシア、フィリピンなどでの活動に活用されます。

さらに、「環境アクション（2021-2024）」の取り組みの一環として、国内の工場などで植樹を実施しました。

当社では、今後もグループ全従事者のサステナビリティ意識の向上を図り、取り組みをさらに推進していきます。

なお、本キャンペーンの概要は下記のとおりです。

※1 当社で設定した気候変動に貢献できる以下3つのテーマから1つ選択し、具体的な行動計画を宣言し取り組みました。

テーマ1：廃棄食品を減らす

テーマ2：リデュース、リユース、リペア、リサイクル

テーマ3：環境に配慮した商品を選ぶ

※2 “Our Act Now”宣言をキャンペーン期間内に実行した従事者数

記

1. 名 称：ヤクルトサステナビリティキャンペーン
2. 期 間：2024年9月2日～9月30日
3. 対 象：ヤクルトグループ全従事者
4. 実施結果

(1) 「人と地球のために、今行動しよう！」

～気候変動問題の解決に向けて 1.5℃目標のために取り組もう！～

① 参加拠点数：167拠点

② 達成者数：37,543名

③ 寄 付 先：公益財団法人国際緑化推進センター（JIFPRO^{※1}）

④ 寄 付 金 額：3,754,300円

(2) 公益財団法人オイスカ^{※2}の「子供の森」計画^{※3}への支援金として、10万円を寄付

(3) 「環境アクション（2021－2024）」^{※4}の取り組みの一環として、国内ヤクルトグループの15の工場などで植樹を実施

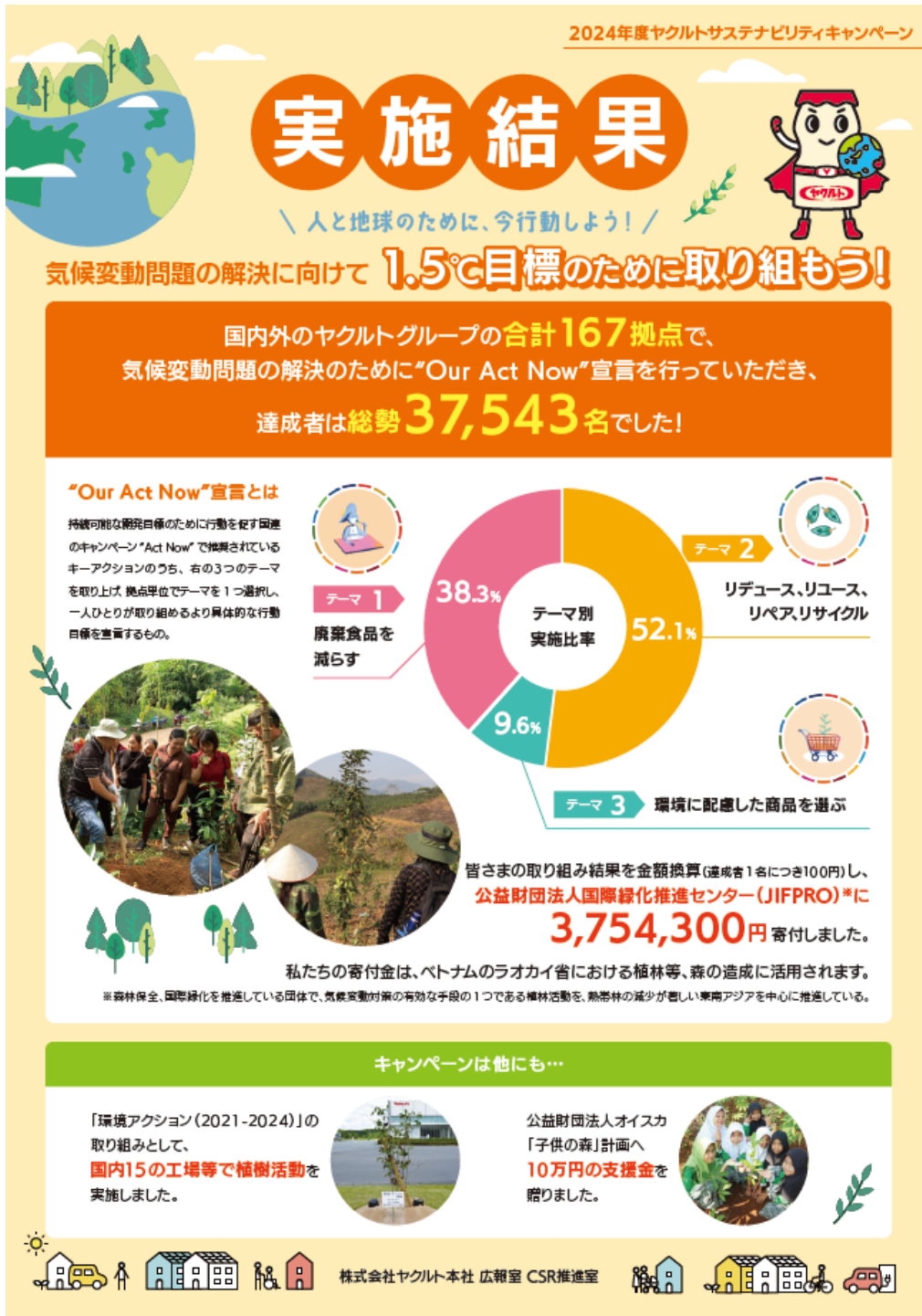
※1 森林保全、国際緑化を推進している団体。気候変動対策の有効な手段の一つである植林活動を、熱帯雨林の減少が著しい東南アジアを中心に推進している。

※2 アジア・太平洋を中心とした地域で、農村開発、人材育成、環境保全を推進する国際NGO

※3 子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地に苗木を植え、育てていく活動を通じて「自然を愛する心」、「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めるプログラム

※4 ヤクルトグループでは、環境ビジョンの「環境ビジョン2050」と、中期的マイルストーン（「環境目標2030」）、短期的マイルストーン（「環境アクション（2021－2024）」）を策定しています。

【サステナビリティキャンペーン報告ポスター】



以上